

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	2単位	卒業：必修 幼一免：選択
担当教員			
川原 ゆかり			

講義概要	<p>①少子化・核家族化の中の子育ての問題の理解を深める。子どもの生活を育ちについて学ぶ。支援が必要な親子を理解する。</p> <p>②人間を理解するということの基礎知識を学ぶ。子どもの理解の基本を学習する。親の支援法を理解する。</p> <p>③子育てにとまどう親の理解を深める。親の生育環境と育児についての見識を深める。親になるプロセスと養育性の関連について知る。</p> <p>④気になる子どもについて理解する。発達に問題を抱える子どもと親のかかわりについて学ぶ。障害を持つ子供の親の心理と援助について学ぶ。</p> <p>⑤相談助言の実際について学習する。カウンセリングの実際を体験する。子育て支援の現状と課題についての理解を深める。</p>
授業計画	<p>1 今日の子育てニーズの背景及び子育て支援の現状と課題</p> <p>2 今日の子どもの生活と育ち</p> <p>3 人間理解の方法</p> <p>4 人間理解の方法 ～事例を通して～</p> <p>5 幼児期の育ちと人とのかかわり</p> <p>6 幼児期の育ちと人とのかかわり ～具体的事例から～</p> <p>7 親の養育主・育児性の発達</p> <p>8 親になるプロセス</p> <p>9 育ちに気がかりのある子どもと親の理解</p> <p>10 育ちに気がかりのある子どもと親の援助</p> <p>11 親の育児相談・助言の実際</p> <p>12 心理的援助の実際</p> <p>13 カウンセリングの実際</p> <p>14 障害を持つ子どもの親の心理と援助</p> <p>15 保護者支援という考え方について</p>
授業形態	講義
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①育児支援の今日的な課題と意義について学び、保育者としての使命感や責任感を再認識する</p> <p>②人間理解（子どもと親）について知り、保育者の役割について考察するために、己についても知ることができる</p> <p>③親の養育性の理解を深め、子育て支援の意義について見識を高めることができる</p> <p>④育ちが気になる子どもと親について具体的事例を学び、発達障害児についての援助法を習得することができる</p> <p>⑤育児相談の実際について学習し、相談援助技術を高めることができる</p>
教科書・参考書	<p>テキスト：『子どもの理解と援助』 保育出版社</p> <p>参考書：『子どもを育む母親援助の実際』 保育出版社</p> <p>『保育者のためのカウンセリングマインド入門』 チャイルド社</p> <p>『保育者のための相談・援助技術』 萌文書林</p> <p>『言葉の交わり合い方』 学陽書房</p>
履修条件	
履修上の注意	

オフィスアワー	研究室にいるときはいつでも対応しますので、気軽に訪ねてきてください
備考・メッセージ	